地元を盛り上げる大きな役割と娘の生きる力を伸ばす毎日。

諏江（すえ） 香代子（かよこ）さん（40代）

＜金山町＞

薬剤師
（就業）

2017年 Uターン

金山町に移住した薬剤師

『金山町は人口約1,800人、高齢化率54．8%と過疎化が進む地域ですが、そのシニア世代が最前線で活躍している町です。また、2011年7月に起きた新潟・福島豪雨の災害による一部不通から11年ぶりに全線運転再開を果たすJR只見線に注目が集まっている地域でもあります。
金山町生まれの諏江さんは2017年娘さんとUターンしてきました。今は金山町で薬剤師の仕事をしながら、地域の方々と只見線の全線運転再開を盛り上げる役割もしています。金山町に移るきっかけ、今の仕事、娘さんのこと、地域の人とのつながりなど、諏江さんが運営しているつどいの場「このかぜ」にて取材しました。』

取材日 2022年9月24日

子どもと一緒に移住

＜移住のきっかけ＞
そもそもは2014年に私が娘と二人で、長崎県から会津若松市に移住したことです。
両親はずっと金山町に住んでいましたが、私が会津で最初に探せた仕事が会津若松市だったので、市内に住んで金山町にはマメに通うようにしていました。今思うと両親にはいろいろと心配をかけたと思います。改めて、久しぶりの金山町は良いところだな、と思いました。通ううちに子育てするにも私の理想的な場所だと気づいたのです。
金山町で薬剤師の仕事が見つかったこともあり、2017年に金山町にUターンしました。

＜金山町での生活＞
会津若松市に住んでいる時から金山町にはよく来ていたので、生活については特に何も心配はありませんでした。
ただ、娘の小学校の入学に合わせて実家に移ったのですが、金山町は同級生が1人。会津若松市内ではそこそこ大きな幼稚園でしたので、その人数のギャップは少し心配しました。
入学してみて、娘は最初こそ戸惑っているように見えましたが、あっという間に工夫して遊ぶようになりました。子どもの適応能力は素晴らしいですね。

＜薬剤師として金山町で働いてみて＞
金山町川口には駅があり、役場や病院もある生活の中心地です。そこに私が勤める薬局があります。薬剤師は薬局で薬をお渡しする以外にも学校薬剤師として学校を訪問したり、健康についての講師をするなど店頭以外の仕事もあります。手に職をと思い学生時代に頑張って勉強した甲斐がありました。今は勉強より仕事が好きです。

金山町を娘と楽しむ

＜地域との関わり＞

11年ぶりにJR只見線が全線運転再開することで金山町を含む奥会津が盛り上がっています。私も只見線応援団つなぎ隊として、他にもイベント企画や受け入れの準備など出来ることを手伝っています。

地域の集まりは仕事を終えてからがほとんどで、時間がかなり取られます。ただ、楽しいんですよね。奥会津の人達って農家民泊をしている人や伝統野菜の赤カボチャを作っている人、只見川の船頭さんなど、個性的な人がたくさんいるのですが、皆さんすごくいい人なんです。奥会津の人に関わることで私もいろいろやりたい！って気持ちになります。

この、つどいの場「このかぜ」も周りの声から始めようと思った施設です。奥会津には移住者がけっこういるのですが、「気軽に集まる場所がない」とか「子どもを遊ばせながら親が話をする場がない」とか、そんな声がありました。ここは私の実家の隣の方が管理していた空き家なのですが、「なんかするなら使っていいよ」と言ってもらえて、お借りしています。今では子ども連れでちょっと話したい時や遊ばせたい時などに解放しています。毎日開けるのは難しいですが、ゆるい感じで続けていければいいかなと思っています。

＜金山町での子育て＞

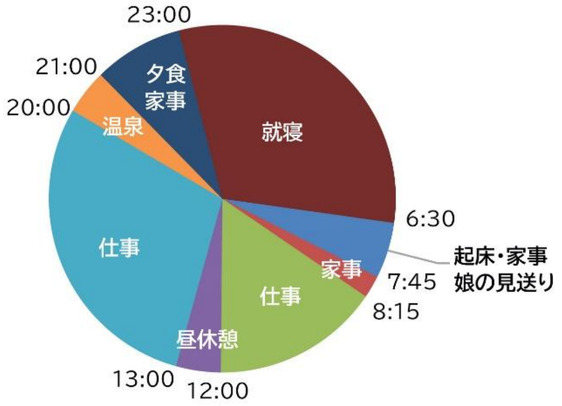
金山町に移って、娘はたくさんの方に育ててもらっていると思います。親以外の大人の中で育つ経験って、子どもの将来に重要だと思うのです。

あと、金山町って余計なものがないじゃないですか。例えば、コンビニやファストフードで買い食いすることもできない。離れている友達のところに遊びに行くにも歩いて行くしかない。これを不便ではなく、魅力だと思っています。

娘にはたとえ私がいないとしても一人で生きていく強さを身につけてほしいと思っています。その点でも、金山町のこの環境は最高なんです。今は地域の事に関わっていて忙しい日々ですが、娘なりに私がやっていることを理解してくれてるのだろうと思います。私のためでなく、娘のために金山町に移ってきて本当に良かったです。

古民家を活かした交流の場「このかぜ」前にて

ある一日のスケジュール



諏江さんの行動歴

金山町生まれ ⇒ 東京都（大学） ⇒ 静岡県（就職） ⇒ 長崎県（就職） ⇒ 会津若松市（就職） ⇒ 金山町へ

移住を検討している方にアドバイス

奥会津は雪が多めです。冬前にはカメムシが窓にびっしりになるほど出ますが、慣れます。

只見川を望む高台に調剤薬局がある

金山町について

令和4年4月1日現在

現住人口	1,837人　男性/898人　女性/939人
面積	293.92平方キロメートル
標高	海抜　306.6m（金山町役場）
最寄駅	JR只見線「会津川口駅」
最寄IC	磐越自動車道「会津坂下IC」
保・幼・こ	認可保育所　2か所
小学校数	公立　2校
中学校数	公立　1校
高校数	公立　1校
病院数	診療所　1か所
町の特徴	町の特産品である赤カボチャや沼沢湖のヒメマスなど、ここだけの素材が光る地域である。世界でも珍しい軟水の天然炭酸水「奥会津金山　天然炭酸の水」は、サミットなどのテーブルウォーターになるなど、日本を代表する天然水となっている。
移住サポート窓口	金山町役場（企画課） 金山町ホームページ https://www.town.kaneyama.fukushima.jp/site/ijyuu/ 電　話:0241-54-5203 メール: kikaku@town.kaneyama.fukushima.jp